

科目名 (英 訳)	R・講義と実習によるバイオサイエンス Bioscience and Biotechnology	開講学期 曜日・時限	後期 月曜4・5時限 (開校日指定)
対象学年	2年生	単位数	1単位
受講資格		募集人数	原則10名まで
担当教員	服部 淳彦		

●授業の概要 (Outline of content and teaching method)

この科目では、

- 1) 現代のバイオサイエンスの研究で用いられている新しい手法の原理を学ぶ。
- 2) また、英語で書かれたオリジナルの研究論文を読み、その内容をレジュメにまとめて、それぞれに発表してもらう。
- 3) 次に、それらの技術の一部を用いた実験を、実際に行う。
- 4) さらに、その発展バージョンとして、各人に自由に実験のプランニングをしてもらい、そのプランに従った実験を実際に行い、結果を発表、ミニ卒論(論文形式)の形にまとめてもらう。

したがって、実験を行う日(日時に関しては後日相談する)は、5時限以降にずれ込むこともあるので、そのつもりでいてほしい。

●授業の目的 (Primary goal)

大学の1年間を終えて、もっと深く研究(実験)をやりたい、サイエンスリテラシーを身につけたいと願う学生向けに開講した生物学のアドバンストコース(リサーチコース)である。

●到達目標 (Objectives)

将来研究者になるために必要な基本的なものの考え方や技術を修得する。

●授業計画 (Schedule)

1. 各人に発表してもらう英語論文は、内容にあわせて順次配布する。
2. 実験を行う日に関しては、1回目の授業の時に相談する。
3. 少人数セミナー形式の授業なので、希望者が多い場合は、申し訳ないが人数を絞らせていただく。
4. 前期の「講義と実習によるライフサイエンス」を受講している学生を優先する。

●成績評価の方法 (Grading scheme)

出席を重視する。

内容を発表してもらう英語論文に関するプレゼンテーションやディスカッションの様子、さらに、実際に行った研究(実験)の発表内容やミニ卒論などから総合的に判断する。

●教科書および参考書 (Textbooks and materials)

参考文献などは、随時紹介する。